



緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

新治中部
地区別計画策定委員会
平成 22 年 11 月発行

新治中部 地区別計画策定委員会通信 No.3

～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”をはじめ生活に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。



第3回 新治中部地区別計画策定委員会

～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっています。

新治中部地区は 18 名の委員で構成されています。

新治中部地区別計画策定委員の皆さん (順不同)

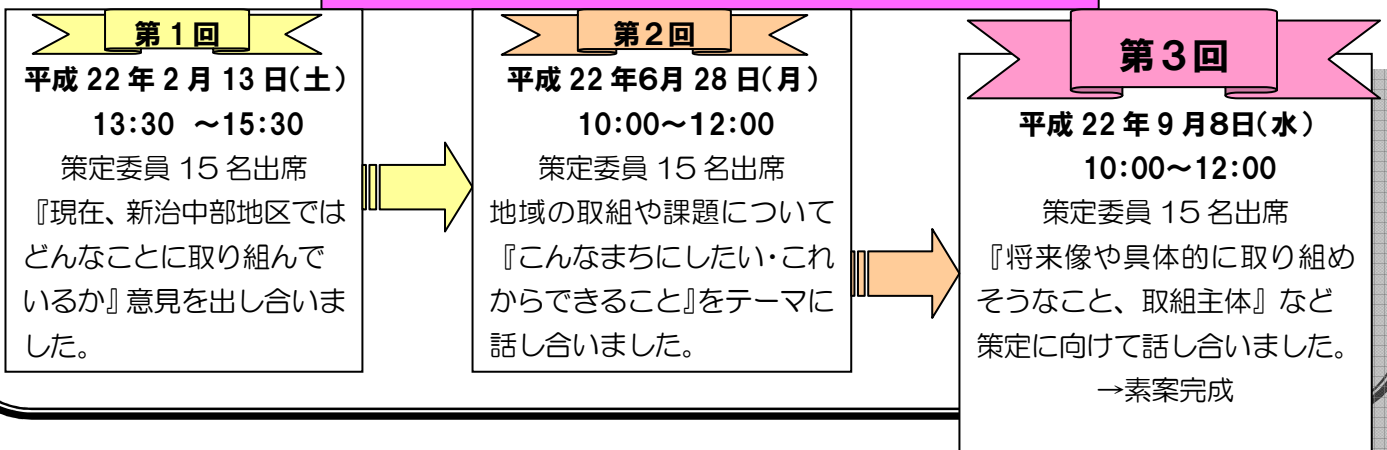
連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、子ども会育成会
リハ教室ぬくもり、中山食事会、老人会

平成 22 年 9 月 8 日(水) 10 時～12 時、中山町自治会館にて『第 3 回新治中部地区・地区別計画策定委員会』を開催しました。

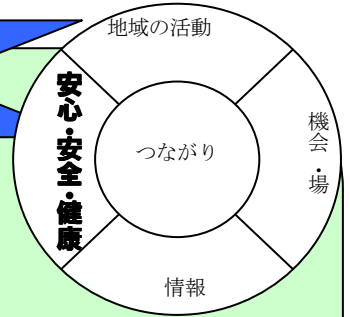
今回は第 2 回までの委員会で検討された「取り組めそうな活動」について整理をし、「将来像」や「具体的に取り組めそうなこと」、「取組主体」について話し合いました。

委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

地区別計画策定委員会の開催状況 中山町自治会



防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい



課題

- 災害時など困ったときに、手助けをしてくれる人がいて欲しい。
- 安全・安心に関心を持つ人が増えてきたので、その関心を活動につなげたい。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるようにしたい。

5年間で取組んでいきたい事

- 防災に関して、今後の地域の担い手となり得る中学生の『力』を活かすため、学校と連携していく。
 - ・中学生と『地域の防災』について、意見交換会を実施する。
 - ・防災訓練の平日合同（地域と学校）実施について検討する。
 - ・4地域防災拠点の防災訓練を同一日に実施するよう検討する。
- 毎年意見交換会を開催することで、次の計画を一緒に立てることを目指す。
- 子どもたちの防災の意識を高めるように学校へ提案していく。
- 行方不明者が出たときに、地域で情報を共有できるように、関係者で集まって検討する。

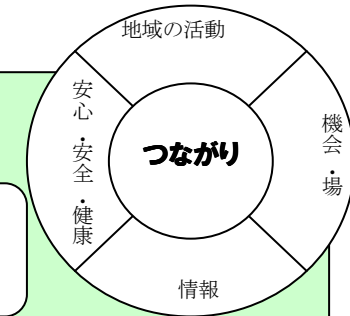
<実施主体>

地域防災拠点
運営委員会

<実施主体>

連合自治会を
中心に地域全
体で取組む

次世代につながるまちにしたい



課題

- 地域活動の担い手がいない。団塊の世代に地域の担い手になってもらいたい。
- 次の世代の人材育成について考える必要がある。（小学生や中学生の親世代など）
- 団塊世代の地域デビューを手助けしたい。

5年間で取組んでいきたい事

- 団塊の世代等、幅広い世代に働きかけるには
 - ・顔見知りになって声をかけ、心のつながりをつくる。
 - ・運動会など地域のイベントを通じて仲間作りをしていく。
 - ・防犯パトロール等ふれあう機会をつくり、関係づくりを進める。
 - ・気楽に、普段着でできる自治会活動とし、参加しやすくする。
 - ・地域のボランティア活動に中学生に継続的に参加してもらう。
 - ・小学生に福祉体験の情報を提供する。
- 定期清掃に参加する人が増えている。定期清掃を広めることで、つながりができ、安否確認もできるようになる。
- 自治会相互の情報を共有することで、自治会活動の協力を継続する。

<実施主体>

地域全体で
取り組む

みんなで力を合わせて **次世代につながる地域づくりを!**



<連絡先>

新治中部 地区別計画策定委員会
事務局 緑区福祉保健課長 津田
TEL: 930-2352